

HPAI 防疫演習を開催しました

西部地区の高病原性鳥インフルエンザ防疫演習を開催しました

分類：新着ニュース, 農業

登録日:平成 28 年 11 月 15 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

平成 28 年 11 月 9 日(水)、長門市油谷において、西部家畜保健推進協議会主催の高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)防疫演習を開催しました。参加者は、午前 45 名、午後 140 名でした。

午前は、机上演習として HPAI 防疫対応の現状について、実地演習として防護服の着脱及び農場入退場時の留意事項について、西部家畜保健衛生所の職員から説明しました。

また午後は、基調講演として西部化成株式会社 技術顧問 篠田一孝先生を講師にお迎えし、「鶏舎における有害生物の生態と防除」と題して、野生動物の生態、鶏舎へのウイルス伝搬プロセスに始まり、清掃、整頓を主体とした鶏舎周辺対策、ネズミや昆虫等の侵入防止対策、ネズミ駆除方法等について貴重な御経験を踏まえ、御説明いただきました。次に、長門健康福祉センター職員による HPAI 発生時の人の感染防止対策、食鳥検査における HPAI 対応、西部家畜保健衛生所職員による鶏の飼養衛生管理基準について説明しました。

当地域では平成 26 年に HPAI の発生を経験していることもあり、参加者一同、危機意識を持って説明に聞き入っていました。

西部家畜保健衛生所では、農場における HPAI 発生防止対策を推進するとともに、日常の危機管理意識の向上に繋げていきます。



篠田一孝先生の御講演



実地演習:防護服の着脱

問合せ先

メール: a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話:083-766-1018